

イスラーム世界を学ぶ

巨大市場 イスラームマーケットに進出するには

2014.11.17(月)

18:00~20:00 (受付 17:30 ~)



「イスラームとどう向き合うか」

東京オリンピックに向けて一層の国際化が進む中、世界の人口の約4分の1の信者を有するイスラームの世界観・人間観から明らかにし、向き合い方を考える。

講師：奥田 敦 氏 慶応義塾大学総合政策学部教授
SFC 研究所イスラーム研究ラボ代表

「インドネシアのハラールビジネス」

インドネシアへの進出あるいは、インドネシアからの受入をするに当たり、人々の宗教との向き合い方やイスラーム実践のあり様を理解する。

講師：野中 葉 氏 慶応義塾大学総合政策学部非常勤講師



会場：相模原市立産業会館 1階 ホール

定員：80名 (申込順)

参加費：無料

申込：E-mail・FAXでお申込みください。
(詳しくは、裏面をご覧ください)

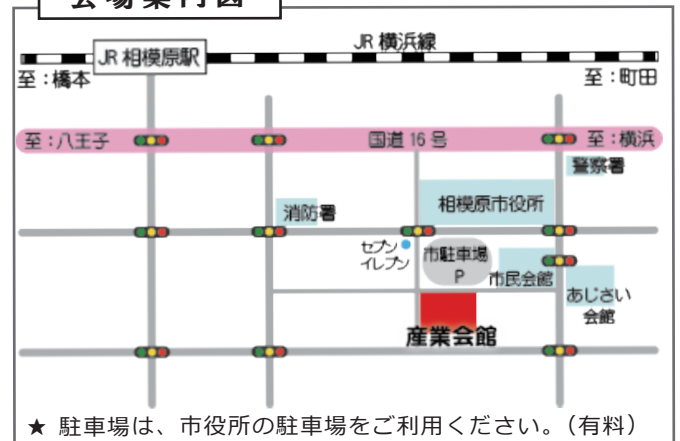
主催：(公財)相模原市産業振興財団、相模原市

後援：株式会社さがみはら産業創造センター
相模原商工会議所

問合せ：

公益財団法人
相模原市産業振興財団
Sagamihara Industrial Promotion Foundation

会場案内図



電話：042-759-5600

「イスラームとどう向き合うか」

講師：奥田 敦 氏

毎日のように「イスラーム」の話題がマスメディアで取り上げられている。しかしながら、イスラームについては、なかなか知る機会が無い。世界の人口の約 4 分の 1 がイスラーム教徒（ムスリム）と言われている。東京オリンピックを控え、国際化は更に加速し、イスラームの文化・社会・習慣に触れる機会が増えてくることが予測される。しかしながら、イスラームについての正しい知識がないために、どう向き合っていけばよいかかわからないのが現実である。マスメディアでは伝えきれない、イスラームの宗教のもつ世界観、人間観について考えていきたい。

「インドネシアのハラールビジネス」

講師：野中 葉 氏

ポスト BRICs として注目されている VIP(ヴェトナム・インドネシア・フィリピン)の一翼を担うインドネシアは、日本企業の進出が盛んである。人口増加著しいインドネシアでは、約 9 割がムスリムであり、世界最大のムスリム国である。日本への観光客、留学生、労働者を多く送り出している国である。インドネシアへの進出あるいは、インドネシアからの受入をするに当たって、インドネシアの人々の宗教との向き合い方、社会におけるイスラーム実践のあり様を理解することは非常に重要である。

参加申込書

下記に必要事項をご記入の上、**ホームページ・E-mail** または **FAX** からお申込みください。

URL : <http://www.ssz.or.jp/islam2014>

E-mail : monodukuri@ssz.or.jp FAX : 042-759-5655

貴社名			
所在地			
電話番号	E-mail		
FAX			
部署・役職名	フリガナ		
	氏名		
	フリガナ		
	氏名		

個人情報の保護について

- ・ご記入頂いた個人情報は、主催者の事業に関する情報提供と参加募集のご案内、ご連絡に利用させていただきます。
- ・個人情報は、取扱目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。